

うつ病・うつ状態で デュロキセチン錠／カプセル「トローワ」を 服用される患者さんにご家族の方へ

この薬について

- この薬は、うつ病・うつ状態を改善する薬です。
- この薬は、少量からはじめて徐々に飲む量を増やしながら患者さんに必要な量を調整していきます。症状を改善するためには、決められた量の薬を続けて服用することが大切です。
- 効果があらわれるまでに2～4週間かかる場合もあります。すぐに効果があらわれなくても心配したり、不安になったりする必要はありません。
- この薬は、体調がよくなったとご自身で判断して服用を中止したり、量を減らしたりすると、「些細なことでも心配になる、いらいらする、あせる」などの症状があらわれることがあります。よくなった症状を維持するためにも、主治医の指示に従ってきちんと服用を続けてください。
- 錠剤を砕いたり、カプセルをあけたりせず、そのまま服用してください。

服用中の注意点

- 薬の飲み始めに、吐き気やめまいなどの副作用があらわれる場合があります。気になることがあったら、ご自身の判断で薬の服用をやめないで、まず主治医または薬剤師に相談してください。

主な 副作用

- 眠気
- 吐き気
- 頭痛
- のどの渇き
- めまい
- 便秘
- 下痢

- 自動車の運転などが必要な場合は主治医に相談してください。眠気、めまいなど、自動車の運転に影響を与える症状があらわれることがあるので、注意してください。またこれらの体調不良を自覚した場合は、絶対に運転しないでください。特に薬の飲み始め、飲む量を変えたとき、他の薬から変えた際にこれらの症状があらわれやすいため、主治医より運転などをしないように指示があった場合は指示を守りましょう。
- この薬は肝機能、心拍数、血圧に影響を与えることがあります。そのため、血液検査、脈拍数や血圧測定を行い、異常がないか確認することがあります。

(裏面もお読みください)

服用中に注意する症状について

- うつ病やうつ状態の患者さんは死んでしまいたいと感じることがあります。この薬を飲んでいる間、特に飲み始めや飲む量を変えたときに、不安感が強くなり死にたいと思うなど症状が悪化することがあります。このような症状があらわれた場合は、主治医に相談してください。
- 「不安になる、いらいらする、あせる、興奮しやすい、発作的にパニック状態になる、ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来す、敵意を持つ、攻撃的になる、衝動的に行動する、じっとしていることができない」などの症状があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合は主治医に相談してください。
また、この薬との関連性は明らかではありませんが、このような症状があらわれた患者さんの中には、うつ症状などのもととある病気の症状が悪化する場合や、死んでしまいたいと感じたり、他人に対して危害を加えたりする場合があります。

ご家族の方のサポート

- ご家族の方は、「死にたいという気持ちになる、興奮しやすい、攻撃的になる、ちょっとした刺激で気持ちの変調を来す」などの患者さんの行動の変化やうつ症状などのもととある病気の症状が悪化する危険性について、主治医から十分に理解できるまで説明を受け、患者さんの状態の変化について観察し、変化がみられた場合には主治医に連絡してください。また、患者さんご自身も病状に変化があったと感じた場合は、ご家族や周囲の方にも伝えるようにしましょう。

18歳未満の患者さんの服用に関する注意点

- 7～17歳のうつ病の患者さんがこの薬を飲んだ場合、有効性が確認できなかったという報告があります。18歳未満のうつ病の患者さんやそのご家族の方は、主治医と十分に相談してください。

このほかにも、気になることや分からないことがある場合は、主治医または薬剤師に相談してください。

東和薬品株式会社

2021年2月作成 (DC-000806)